

青森県内各地の「九条の会」若干の活動報告

青森県九条の会共同代表事務局 谷崎 嘉治

- 「青森県九条の会」は基本的に世話人個人で構成され、活動拠点は青森市内です。県内九条の会合同会議、集会、街頭宣伝等を開催するときは、基本的に当会を含めて、13団体（青森県・市町村長九条の会、青森市九条の会連絡センター、憲法ネットあおもり、憲法を守る青森県民の会、青森県9条連、青森ペンクラブ、青森県労連、青森県平和労組会議、共産党、社民党、立憲民主党）との共催で活動しています。
- 県内各地では、弘前地域は「津軽9条の会」、西北五地域は「西北五9条の会」、八戸地域は「はちのへ9条の会」、上十三地域は「9条を守る上十三の会」、下北地域は「下北地域9条の会」が中心となり、自主的な小さな「〇〇〇九条の会」を含めて40近い「九条の会」が組織され、活動しています。
「安倍改憲NO！全国3000万人署名」が提起されたときは、各地域の会と大きな団体組織が奮闘し、青森県民約123万人の10%以上（14万7千筆）の署名を集めて「九条の会」に送ることが出来ました。
- 本州最北端、広大な「まさかり半島」で、上記の「3000万人署名」に取り組んだ『下北地域九条の会』の活動を紹介します。
 - 1) 署名実行委員会を組織し、2018年2月4日、佐井村を6名で回り、署名100筆を集めてスタートしました。その後、むつ市、大間町、横浜町、佐井村、風間浦村、東通村の下北地域全市町村を回り、「9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」を含めて、2021年4月10日まで、53回の署名行動を重ねました。参加者数は延べ327名（一回の参加者最大14名、最小2名）でした。
 - 2) 街頭宣伝（スタンディング）を、署名と同じ期間に55回開催。弁士延べ177名、最大7名、最小1名。また、参加者延べ456名、最大18名、最小3名でした。
- 『津軽9条の会』の活動を紹介します。
 - 1) 昨年4月5日に神田健策代表（弘前大学名誉教授）が急逝し、一同傷心の中、神田先生の遺志を継ごうと奮闘してきました。
 - 2) 42団体で結成した「憲法9条守れ、戦争法廃止！弘前実行委員会」の事務局として運動を展開しています。
 - 3) 毎月の定例実行委員会で、活動内容と署名数を報告し合い、励まし合いながら共通の目的としての「憲法9条を守ること」、「安保法制（戦争法）の廃止を求めること」に向けて話し合いをしています。また、「改憲発議に反対する全国緊急署名」の4月末現在の総署名数は、9,593筆となっています。
 - 4) 毎月1回の「集会・パレード」を60人～80人規模で行っています。代表挨拶、立憲野党（立憲民主党・日本共産党・社会民主党）からの挨拶、参加団体からの

スピーチをお願いし、その後15分コースをパレードしています。今月の5月23日（日）は50回目の記念すべき集会・パレードです。

- 5) 毎月2回（第1,3火曜日）土手町繁華街で街宣と署名行動に取り組んでいます。
- 6) ファルマ9条の会は、毎週金曜日、スタンディングアピールを継続しています。
- 7) 各9条の会（職場・地域・他）がそれぞれ独自の活動を継続しています。

- 『西北五九条の会』を紹介します。「3000万署名」の時は、厳冬の毎戸訪問署名行動では、ボールペンのインクも凍るので途中で中止したとのこと。その代わりに、『西北五九条の会』会報・署名用紙・返信用封筒（切手なし）を約10人で6,000通配布し、返送は芳しくありませんでしたが、80通・600筆を集約しました。これに勢いを得て、今では西北五九条の会の『会報』を総勢40人で1万枚配布し、待たれる通信となっています。まさに、『継続は力』です。



- 『はちのへ9条の会』を紹介します。

はちのへ9条の会は、14団体で結成した「戦争法廃止を求める三八連絡会」の一員として日常の活動を行っています。

街宣行動についても、『スタンディング』は昨年6月22人、7月21人、8月22人、9月21人、10月25人、11月23人、12月24人、今年1月中止、2月24人、3月16人と継続しています。

『憲法街宣』は、昨年6月7人6筆、7月6人15筆、8月中止、9月6人17筆、10月中止、11月9人17筆、12月10人11筆、今年1月10人6筆、2月4人4筆、3月4人3筆、4月7人15筆と、三八連絡会が県内各地の9条の会と同じ活動を継続しています。

また、昨年10月31日、コロナ渦の中、はちのへ9条の会として、「渡辺治憲法講演会」の開催に果敢にチャレンジし、学習を深めました。

岩手・緑が丘地域9条の会活動報告

岩手県盛岡市 緑が丘地域9条の会 事務局 伊藤直子
 <2021年5月30日 九条の会・東北交流会（オンライン） 於；高校会館>

緑が丘9条の会は、2014年6月発起人会を地域の有志で立ち上げ翌7月に結成されました。

世話人は11名、代表は決めずに事務局が担当しています。入会金100円で当初会員は120名ほどでしたが、現在はおおよそ100名です。毎月事務局会議や世話人会を開催し、時々的情勢を話し合い、行動計画を立てています。ニュースも定期的に発行していましたが、担い手が不在となり、暫く出せないでいました。しかし、簡単なもので良いので発行しようという事になり、2か月に1回の発行を努力しているところです。

私たちはお金のない小さな会なので、独自にやれることをやっていこうという事で活動を開始しました。毎月行動日を決め、小さな商店街やスーパーマーケット前で署名行動しました。

署名用紙も緑が丘地域独自で作成して545筆集め、岩手の会にオブザーバー参加してから統一署名は411筆、そして3000万署名は500筆集めました。1回の集約が十数筆という時もあり気落ちすることもありましたが、励ましあってきました。

私たちの地域は盛岡市の北部の郊外にあり、主に住宅街です。県立高校2校、私立高校1校、岩手大学があります。若い人たちに「安倍政権の憲法9条改憲は戦争につながる道」という事を是非知ってほしいと思い、高校の入学式、卒業式には松園9条の会と一緒に署名行動を行い、さらに岩手大学構内では大学の先生方やいわての会、松園9条の会と協力して行ってきました。

高校前宣伝は入学卒業式以外でも年に数回取り組みますが、子どもたちの反応が以前より良くない時の方が多くなり、どうしたものかと考えてしまいます。また、お花見の時期は桜の名所高松の池口で、そして材木町の「よ市」でも行動しています。お花見署名行動は、去年はコロナ、今年は雨で中止となりました。

私たちの会では毎年、情勢に応じた学習会を地域の方を講師にして開催してきました。そして、松園9条の会や地域の新日本婦人の会、盛岡医療生協の方々と一緒に毎年映画会を開催しています。2017年は「戦場ぬ止め」（いくさばぬとどうみ）、2018年は「米軍が最も恐れた男—その名はカメジロー」、2019年「コスタリカの奇跡」、2020年今井正監督「ひろしま」。どの映画会も大成功を収めました。また去年の「ひろしま」はコロナのため2か所で行いましたが、盛況でした。今年度も何か計画したいと思っていますところです。

私たちの会では、昨年発行の九条の会ブックレット「安倍改憲のねらいと危険性」を世話人会で学習しました。今年は、新しいブックレット「菅政権の成立と改憲問題の新局面」をテキストにして来月6日に学習会を行います。今回はチラシを作り、

2021年九条の会東北交流会

参加予定者にはブックレットを購入してもらっていますが、参加はできないがブックレットが欲しいという方もいました。現在 20 冊に達しています。

私たちの会の財政は、入会金 100 円だけなので大変です。学習会などの度に募金をお願いしてきましたが、今は物品販売などをして保っています。

今後の課題は、若い人たちとつながりを持つこと、会員を増やすことです。

悪法を次々と打ち出してくる菅政権には本当に腹が立つことばかりで、挫けそうになることもありますが、あきらめずに活動を続けて行きたいと思っています。

岩手大学構内での署名宣伝行動のようす



2021年5月25日

秋田九条の会からの報告

秋田九条の会は、2004年12月に発足以来、毎年のように県内外から憲法学者や文化人などをお招きして記念講演会を企画して活動をしてきました。しかし、昨年の新型コロナウイルス感染の状況でこれまでのような交流集会ができなくなりました。

また地域における九条の会運動も秋田九条の会の活動と同様の記念講演会などの企画をしながら地域での活動を行ってきた関係で、これも困難になっており、開店休業のところが多くなりました。

その中でも能代まちなか九条の会は、地元の戦争体験を後世に伝え、二度と再び戦争の惨禍を起こさせないとして、戦争体験者による「戦争証言」の記録集を刊行し、多くの方々の関心と反響を呼び起こしています。また地域では、毎週日曜日に午後1時から15分間のスタンディング行動を、2015年9月の安保法制が強行された以降、地域の民主団体や個人で実行委員会をつくって行っています。継続は力なり、このスタンディングが憲法闘争を地域に発展させていくうえでも大きな力となっています。

あきた女性九条の会は、毎年記念講演会や学習会を企画、今年はジェンダー平等課題を取り上げましたが、女性分野での憲法闘争で大きな役割を果たしてきています。

秋田県憲法センターは、憲法九条にちなんで、毎月「9の日」行動を昼1時間の宣伝行動を行っていますが、これに九条の会が毎回のように参加してきています。

また、2015年9月に安保法制が強行された日を忘れないとして、毎月のように「19の日」に、集会とデモ行進を行ってきていますが、これにも九条の会は参加しています。秋田九条の会の独自の行動としてはありませんが、地域のこうした行動には積極的に参加し、九条の会運動をひろげていく努力をしています。もちろんこうした街宣活動時には憲法改悪阻止の署名行動を伴いながら行動してきています。

コロナ禍のなか、これまでのような活動を変えた新しい運動のあり方をみんなで考えいかなければいけないと話しているところですが、その一つとして、今回、「九条の会」ブックレット「菅政権の成立と改憲問題の新局面」を410部取り寄せ、会員などに頒布をしたところ、皆さんから大歓迎を受け、地域の九条の会からも数十部注文が来るなどがありました。最初は費用問題もあり、やることに躊躇しましたが、今日の「アベスガ政治」の戦争への道を許してはならないの九条の会みなさんの熱い気持ちがエネルギーとして燃え、継続していることを痛感し、今後このような活動も必要だと考えているところです。

秋田九条の会組織の高齢化、若い世代への運動の継承、憲法をくらしに根付かせていく課題、国民投票法に対する地域からの運動など、いろいろと抱えている課題は多くありますが、他の九条の会活動を学びながらこれからも奮闘していきたいと考えています。

(報告者・秋田九条の会事務局 鈴木政隆)

九条の会東北交流会 山形県からの報告

つるおか・たがわ九条の会 活動の広がりを作るために

事務局長 佐藤大樹

つるおか・たがわ九条の会は山形県庄内地方にある鶴岡市・庄内町・三川町の範囲で活動する各九条の会で構成された連絡会的組織です。2005年に発足し、現在では地域九条の会が10、職場や団体の九条の会が6、1つの分野九条の会、合わせて17の単位九条の会で構成されています。その各九条の会から運営委員が出て、2か月に1回運営委員会を開催し、情報の共有や運動課題の検討、情勢の学習を行っています。

この間、安倍政権の改憲の策動が顕著ななか、「安倍9条改憲NO!3000万署名」の取り組み、地域の諸団体と共闘して「前川喜平講演会」「望月衣塑子講演会」、地元新聞への意見広告に取り組み、連携を深める活動をすすめてきました。

一方、九条の会運動も10年以上となる中、運営委員会で大きな課題としてきたのが「活動の広がり」をどう作るか、でした。地域内でもまだ九条の会のない地域があり、まず空白地区の克服を課題としました。鶴岡市が合併する以前の旧町村にあたる藤島、羽黒、櫛引、大山といった地区が空白ですので働きかけをすすめており、去年は藤島地区で九条の会が誕生しました。その背景には医療生協の支部活動が力になってくれました。また、九条の会を良く知らない人に「九条の会とは何者か」わかりやすく表すため、会の「申し合わせ」事項を作りました。最近では、各会の動きや情勢を共有する「つるおか・たがわ九条の会」として「ニュース」を作り、隔月で発行しています。

このコロナ過で去年はあまり活動ができませんでした。だからこそ、九条の会が地域で根をはり活動を広げるため、今はその下地づくりと考えています。政権与党は「国民投票法改正案」を通し、着々と改憲の動きをすすめています。その動きを中止、地域での九条の会運動を頑張っていきたいと思います。

<参考資料>

「つるおか・たがわ九条の会」申し合わせ

I、つるおか・たがわ九条の会

- 1、会の名称は「つるおか・たがわ九条の会」とする
- 2、会は、以下に所在地を置く

〒997-8588 山形県鶴岡市宝田1丁目3-23 生活協同組合共立社組織部内
Tel:0235-22-5111 Fax:0235-23-9148

2021年九条の会東北交流会

- 3、この会(「つるおか九条の会」)の設立は、2005年5月21日とする
2010年より会の名称を「つるおか・たがわ九条の会」とした
- 4、この会は、井上ひさし氏など9人の呼びかけで設立された「九条の会」のアピールに賛同し、
憲法9条を守るという一点で手をつなぎ、日本と世界の平和な未来の実現に寄与すること
を目指し、各地域・分野で無数の9条の会ができるように、情報発信、交流の場として活動す
るネットワーク組織とする
- 5、会は、上記の目的に賛同する各地域・分野の九条の会により構成される。会への参加は運
営委員会での承認を必要とする。また、つるおか・たがわ九条の会と構成する各九条の会
は対等平等の関係にある
- 6、会の運営は各会の代表からなる運営委員の構成による運営委員会が行う
- 7、この会には以下の役員を置く
 - (1) 代表 1名
 - (2) 副代表 必要に応じて
- 8、役員は運営委員会において選任される
- 9、運営委員会の承認をもって、顧問をおくことができる
- 10、総会は、原則として年1回開催する
総会で、年間の活動実績、翌年の活動計画を確認する
- 11、この会の運営については、別途『Ⅱ』に定める
- 12、この会は当面、以下の活動を行う
 - (1) ニュースの発行 (2) 署名活動 (3) 学習会 (4) 他団体との協同・連携
 - (5) その他
- 13、この会は、募金などにより運営する
- 14、この申し合わせの改定は、運営委員会において決める
- 15、この申し合わせに定めるものの他、必要な事項については、運営委員会で協議し、決定
する
- 16、この申し合わせは、2020年11月24日の運営委員会で確認された

Ⅱ、つるおか・たがわ九条の会運営委員会

- 1、会の運営は運営委員会が行う
- 2、運営委員会は原則2カ月に1回開催し、諸課題を協議し、運営に当たる
- 3、この会に事務局を置き、その運営の実務を担う
事務局は、事務局長、事務局次長、事務局員、代表、副代表で構成され、隔月で事務局会
議を開催し、運営委員会の議題を作成し、事務的総括を行う
- 4、事務局構成員は課題の具体化にあたる

つるおか・たがわ九条の会

ニュースレター

Vol. 02
2021年5月号

みかわ九条の会かわら版より

■九条の会とは

日本が戦争を永久に放棄し戦力を保持しないと定めた第9条を含む日本国憲法の改定阻止を目的として護憲派の作家ら九人によって2004年に結成されました。

■よびかけ人は、次の九人です

井上ひさし 梅原猛 大江健三郎 奥平康弘 小田実
加藤周一 澤地久枝 鶴見俊輔 三木睦子

■みかわ九条の会はその翌年

2005年7月29日発足しました。三川公民館で発足の集いを持ち、呼びかけ人代表(木野喜信)が、「いかなる事があっても戦争はしない」と決意を表明し「平和憲法を守れ」の新しい運動がスタートしたのでした。

■みかわ九条の会の性格と目的

①九条の会には、会長も会則もありません。唯一つ、九条の会を中心にした平和憲法を守ろうとの一点に賛同する自由かつ達な会です。

②会員は、自らの心に「二度と戦争はしない」「九条と平和憲法を守る」意志をしっかりと固めその想いを家族、近所の友人たちを一つにすることです。

③そのためにも「戦争体験を語り合う会」や「平和映画上映会」など会が企画する事業にできるだけ参加します。

④会の目的に賛同する団体、個人、グループは、平等の資格で参加し協同で運動を進めます。

⑤会の運営費用は、町民による善意の募金と事業活動で賄います。



第5学区九条の会

第5学区九条の会です。鶴岡市の旧市内には、小学校区ごとに九条の会ができていますが、私達の地域は、鶴岡市の北端、橋を渡れば三川町です。12年前に発足し、「たより」(会報)の発行も12年間継続、200世帯に、14名が分担して届けています。発足10周年は「平和うたごえ喫茶」を盛大におこないました。昨年、「会」の呼びかけ人3名と事務局5名の「合同会議」を年4回おこない、事務局からの報告・提案に意見を頂いています。

先日の「合同会議」の様子を紹介しましょう(出席7名)。まず会議の最初は、毎回憲法情勢について話し合います。いつも「憲法ファイル」を目で追いながら、今回は「25条」の学習。「大阪地裁の生活保護費引き下げは違法とした判決」についてや、朝日茂さんの「朝日訴訟」のことなど話し合いました。今国会で共産党の小池晃議員

が質問している生活保護申請時の「扶養照会」のことなど、身近におきていることも出し合いながら、25条は闘ってこそ権利が保障されると学びました。

次は、「たより」の前号の感想・次号の編集について。次は、第12回5学区九条の会総会の中止について(コロナ禍で)。次は「つるおか・たがわ九条の会運営委員会」の報告について。ニュース1号は、「たより」の4月号に折り込みました。次は次回会議の日程など。

協議題は簡素ですが、会話は次から次から広範囲で、それがまた楽しいのです。メンバーは歴史研究者・医療生協やまがた職員・元都立高校教諭・会社員・主婦・元市議会議員といろんなジャンルの「引出し」をもっている人達で、その創意が「会」に反映されています。8月15日・宗伝寺さまでの「平和の鐘」は今年9回目となります。

九条の会は100年運動だと言われています。5学区九条の会は小さいながら、平和憲法を守り・生かす「芽」を育て、繋げて行けたらと頑張っています。(水尾記)

「地元の戦争体験者の証言を記録する会」への募金のお願い

旧鶴岡市は1985(昭和60)年に、市議会で平和都市宣言を採択しました。2011(平成23)年3月、現鶴岡市でもそれを継承して現在に至っています。これまで鶴岡市主催でパネルの展示等をしてきましたが、2020年には市民参加の「平和都市宣言の集い」が開かれ好評でした。それを期に、次の世代に平和を継承するため、「集い」を市と一緒に企画した有志数人で「地元の戦争体験者の証言を記録する会」(代表 阿部博行、鶴岡市史編さん委員)を立ち上げました。具体的な活動は、原子爆弾・シベリア抑留・インパール作戦・空襲(庄内、東京)・疎開・

引き揚げ・学徒勤労動員などの貴重な体験者の証言を映像に残すということです。現在、広島で被爆した三浦恒祺(き)氏の証言の映像化に取り組んでいます。

作品の活用は、小、中学校での教材として、また、市主催の「平和の集い」での上映、地域の社会活動の貸し出しなども考えています。

平和を願う鶴岡市民の皆様のご協力を得ながらこの事業を実現させたいと考えております。ご理解、ご賛同の上、ご協力よろしくお願ひします。

呼びかけ人 戸村雅子(0235-22-7297)

『9条改憲NO!やまがた県民の会』からの意見広告と5・3スタンディングの協力依頼に応える

2021年3月下旬に、『9条改憲No!やまがた県民の会』から、「山形新聞意見広告」の募集と賛同金のお願いがあり、可能な範囲での取り組みを行うこととしました。急な呼び掛けにも関わらず、各会で取り組み、つるおか・たがわ九条の会での集約分としては、団体5(協力含む)、個人28名より賛同金44,000円が寄せられました。県民の会全体で団体117、個人727名の賛同名簿が寄せられ、5月3日付山形新聞朝刊に意見広告が掲載されました。

また、5月3日のスタンディングの呼びかけがあり、パル店前で11:00から、各団体の代表25名集まり実施されました。つるおか・たがわ九条の会からは、3名が参加しました。

◇お知らせ◇

「沖縄慰霊の日・映画(ちむぐりさ 菜の花の沖縄日記)の集い」

日時:2021年6月23日(水)

映画上映:1回目14:00~ 2回目:19:00~

※18:30~つどい開催

場所:出羽庄内国際村・国際ホール

チケット:500円(九条の会で販売中)

■ 主な日程

- ◇4月19日(月)10:00-11:00 共立社
つるおか・たがわ九条の会事務局会議
- ◇4月28日(水)12:10-13:00 平和センター
慰霊の日・スタンディング実行委員会
- ◇5月3日(月)11:00-11:30 パル前
スタンディング
- ◇5月24日(月)10:00-11:30 共立社
つるおか・たがわ九条の会運営委員会

編集後記

◇第1号で触れた「国民投票法改正案」が、共産党を除く主要野党の賛成で国会で成立する流れです(5月10日現在)。公職選挙法改正に対応することを理由とする自民党案ですが、そもそもこの法律はCM規制のこと、投票率のことなど多くの問題があるにも関わらず、それには全く触れない改正案でした。自民党のなんとしても憲法改正の入り口に立ちたい姿勢の現れです。自民党憲法改正推進本部の最高顧問に安倍晋三前首相が就任しました。自民党からの改憲圧力が強まることが予想されます。改憲阻止の運動をさらに広げることが重要です。

◇つるおか・たがわ九条の会としての「のぼり」を作成しました。下の部分に各学区九条の会の名前を入れるスペースをとっています。必要な団体は、事務局に問い合わせください。また、各集会においての積極的な活用をお願いします。

<構成団体>・第1学区九条の会・第2学区九条の会・第3学区九条の会・第4学区九条の会・第5学区九条の会・第6学区九条の会・みかわ九条の会・庄内町九条の会・かみごう九条の会・ふじしま九条の会・子どもの本九条の会・山形県宗教者平和協議会・新日本婦人の会・山形虹の会・鶴岡生協・医療生協・高齢者福祉生協

つるおか・たがわ九条の会連絡先

☎:0235-22-5111

fax:0235-23-9148

住所:鶴岡市宝田1丁目3-23

鶴岡生協組織部内

九条の会東北交流会(21年5月30日)

宮城県内九条の会連絡会活動報告

事務局 佐藤修司

— はじめに —

2020年度は1月30日に高田健さんの講演を聞き(エルソーラ大研修室150人)、全国緊急署名に取り組む予定でした。それがコロナ感染、2月の一斉休校要請で会議が開けない、会場を確保できず各会も学習会、講演会ができない状況に陥りました。会議は ZOOM に切り替えるなどして、6月から活動を再開しましたが、署名活動はできずプラスターを作成しスタンディングから始めました。2020年12月に予定した「つどい2020」(仙台サンプラザホール2000人、落合恵子、松元ヒロ)は早々と中止になりました。何とかしたいと21年3月28日に松元ヒロライブをサンプラザホールで計画しましたが、宮城県の緊急事態宣言でそれも中止となりました。散々な一年でした。

- (1) 宮城県内九条の会連絡会は毎月、火曜日の街頭宣伝、19日行動を中心に据えて活動しています。連絡会会議は月1回、幹事会、運営委員会を開いて活動しますが、20年3月、4、5月と幹事会、運営委員会が開けず、ZOOM 会議としましたが宣伝や署名活動はできませんでした。6月になってから、スタンディングを活動の中心にして再開を図り、プラスターやステッカー(シール)の作成をしました。



- (2) 火曜日の街頭宣伝行動は毎月火曜日の12時に平和ビル前で宣伝しています。ハンドマイクによる訴えとチラシ配布、署名活動を続けてきました。2020年度は 23 回、264 人参加、チラシは 3,460 枚配布、署名は 494 筆の結果でした。19 年度と比較するとおよそ半分の実績でした。21年も3月、4月と緊急事態宣言が出され、活動できませんでした。
- (3) 19日行動は他の団体と共同で進めています。5団体で実行委員会をつくり(野党共闘で安保法制を廃止するオールみやぎの会、戦争政策反対宮城県民連絡会、宮城県内九条の会連絡会、県民運動連絡会みやぎ、国緊急署名推進センターみやぎ)で相談しながら進めています。参加者も多く、20年度はコロナと雨、お盆でと3回休みましたが、8回実施し176人参加、チラシは2530枚配布しています。署名は100筆でした。
- (4) 19日行動では、7月19日に、勾当台公園野外音楽堂で『#さようなら アベ政治 守ろう！

いのち ぐらし 平和 7.19 トーク集会』を開きました。九条の会が関わって開いた唯一の集会でした。参加者は300人、発言をしたのは10人の方にのぼりました。県内各分野の運動状況を知ることができました。終了後に県庁と仙台市役所の挟んだ国道4号線の両側で80人以上が並びスタンディングしました。壮観でした。この写真はほんの一部です。



- (5) 9月5日には九私たち九条の会連絡会の総会を開きました。県民会館で定員300人のところへぎりぎりの150名が参加しました。記念講演は九条の会事務局渡辺治先生に「コロナをのりこえ、時代をひらく」と題して話していただきました。
- 「安倍政治とは何か」と問いかけ、「数十年にわたる米国追随の軍事大国化、大企業本位の政治を完成しようとするもの」と解明し「ポスト安倍が狙うのは改憲と新自由主義だ」と述べました。菅首相が選ばれる前でしたが、「安倍なき安倍政治、安倍改憲」の危険を告発し、「安倍政治」に終止符を打つため、市民と野党の共闘による連合政権構想が不可欠だと力説されました。
- (6) 11月21日(土)仙台市シルバーセンターで『「敵基地攻撃能力」ってなに?』をテーマに九条の会連絡会主催の学習会が行われ19名が参加しました。講師の宮城県平和委員会常任理事の本田勝利さんは「敵基地攻撃能力の保有」が急浮上したようにも見えるが、以前からこれは弾道ミサイル防衛戦略の一つとして構想されていた(飛んでくるミサイルにミサイルを当てるよりも発射前に破壊するのが確実なミサイル防衛であるという戦略)。そして、すでに「敵基地攻撃能力」の多くは実際に日本が持っており今後も着実に強化しようとしている。いま、「敵基地攻撃能力の「保有」と言うのは「今持っていないからこれから持とうか」というのではなく、それを使って他国に戦争を仕掛けることを公言し国民に納得させようという段階にまで来たことだ」と述べました。
- (7) 「日本学術会議新会員6名任命拒否」の問題では菅義偉総理大臣あての「抗議」をすべきと連絡会でも議論し、抗議文を菅首相あてに出すことにしました。宮城女性九条の会、名取九条の会、国見九条の会、角田九条の会、みやぎ憲法九条の会などが提出しました。
- (8) 2021年5月6日の衆議院憲法審査会での改憲手続法改正案採決に反対し、慎重審議を求める要請を自民党、公明党、立憲民主党、日本共産党に送るようよびかけました。それに応え、宮城女性九条の会、石巻九条の会、名取九条の会、国見九条の会、とみや九条の会、みやぎ憲法九条の会などが各党へ要請しました。

- (9) 今年5月19日に緊急要請署名を国会へ提出するとのことで、宮城県内九条の会連絡会も参加する、全国緊急署名推進センターみやぎが県内の署名を集めて、憲法共同センターへ5月10日に送付しました。10日に送付したのは1,647筆で累計6,955筆になりました。料金う受取人払いがきは288枚届き、692筆です。送付した署名の10%にあたります。現在、署名推進センターみやぎで把握している県内の署名数は、九条の会4,276筆、九条の会以外4,516筆で合計8,792筆です。頑張っていますがまだ1万筆に届きません。
- (10) 連絡会として2年目の成人式への取り組みをしました。仙台市、名取市、多賀城市ではこれまでも続けられているのですが、連絡会としては2回目です。地下鉄泉中央駅で新成人4000人に対しティッシュに成人式用のチラシを挟み込み2000個配布しました。私たちにとって、若い方へ取り組みは珍しく、チラシの受け取りも良く、寒いけど楽しくなる取り組みと思いました。



- (11) 最後に、今年のゴールデンウィークに宣伝カーを出して仙台市内を4日間、仙南地域を3日間にわたり、宣伝して回りました。延べ7日間で参加した人が17名です。県と仙南の民主商工会の車を借用して行うことができました。アナウンス原稿を作り、録音し、誰でも音声を流しながら宣伝できるようにしました。短期間に集中的に行ったのは初めてですが、外出自粛の時期でタイムリーであったと思います。



- (12) 以上、この一年間余の活動ですが、コロナで思うようにできなかつたのですが、案外あったなという感じを持ちました。3月には、市民連合@みやぎの方たちとの懇談も行われました。本当に改憲阻止のためには改憲派の議員を減らさないといけません。九条の会は直接選挙活動できませんが、この思いは実現しないといけません。声を上げていきたいと思います。

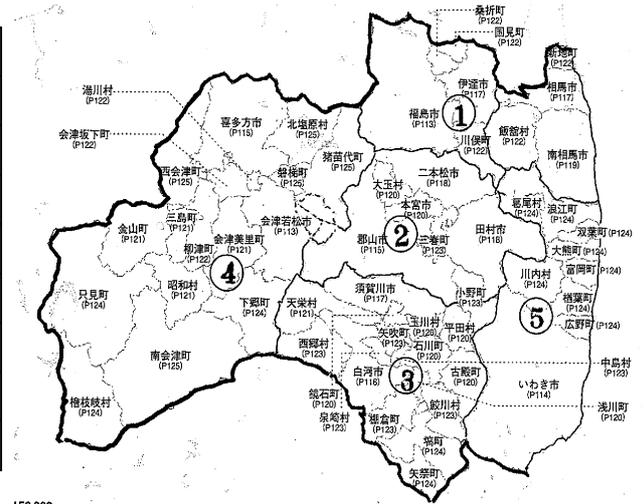
福島県九条の会 活動報告

<福島県全域での活動をどう高めるか>

1. 九条の会活動状況

- ・福島県の全域での九条の会活動を発展させるために5地域（選挙区）を基本に6ブロックに分けて事務局が分担して活動しています。

ブロック	九条の会	準備会	連絡会	未結成町村
県北	18		1	国見町他1
県中	9		1	大玉村
県南	9	2		天栄村他8
会津	29	1	1	昭和村他3
相馬他	8			飯館村
いわき他	14		1	広野町他6
全県域	11			
合計	98	3	4	24



課題：・全県くまなく「九条の会」を結成する。

- ・未結成地域（全県半数町村の半分=24町村）での「九条の会」結成を目指す。
- ・連絡会をもっと増やし、近隣町村での連携活動を強める
- ・各ブロック担当の事務局が地域を訪問して、各々の地域活動について実状（成果や問題点・教訓）を把握する活動が始まっています。県南ブロックー白河地域

2. 学習活動を継続・強化する

2-1、憲法問題の学習（憲法塾）を全県域で発展させる。

- ・2019年8月31日に「福島県活動者会議」（呼びかけ：福島県九条の会）が地域の単位九条の会や民主団体合わせて43人の参加で開かれました。
- ・「私たち一人一人が『憲法語り部』になり、地域住民に語りかけ、また3000万を目標とする街頭・個別訪問署名活動でも説得力ある活動ができるように」との目標で始めました。
- ・憲法問題に明るい方や、「戦争・被爆」体験者の方など多彩な教授・弁護士等の皆様にご協力いただき、実質19年12月22日からスタートしました。20年はコロナ禍のため1～3月に8回・以降3回、今年に入って5月23日に第1回、8月4日に第2回の予定です。大学の元・現教授や弁護士や地域での活動家など31名の講師陣を用意しており、ますます「憲法塾」活動を強めていきます。

2-2、事務局会議での学習強化

事務局会議（13人）では昨年「各分野の課題学習」として他の団体からも協力をいただいて次のテーマで学習会を行いました。①原発廃炉の取り組み、②コロナ禍での九条の会活動、③東アジアの非核と平和についての覚書、④沖縄の闘い、⑤「貧困格差問題の取り組み、⑥市民連合に結集しての選挙闘争⑦コロナ禍、憲法9条擁護活動の展望を切り開く、⑧ジェンダー平等と私たち

<全国署名活動の展開>

- ・2017年9月に全国市民アクションが発足し、全国3000万署名活動・改憲発議反対署名活動と継続し、再三にわたる安倍政権・続く菅政権による改憲への道を閉ざしてきました。
 - ・福島県九条の会は、同年10月5日に県内各団体に福島県市民アクションの結成を呼びかけ、12月17日に「福島県市民アクション・キックオフ集会を開き、約100人の結集ですた-としてきました。47人の「呼びかけ人」でスタートし、共同代表11人により、その後の活動を展開してきています。
 - ・福島県の有権者が全国の有権者に占める比率が1.6%に当たることから、全国目標×1.6%=48万筆を署名目標として県内市町村別に目標数を設定して取り組みました。
- 全国の署名実績は約948万筆(2019.6.27全国市民アクションQ&A)です。福島県の署名実績は、3千万署名で「170,248筆」(2020.3)と全国平均151,680筆を上回る成果をあげました。
- その後の「国会発議」反対署名では今年4月30日現在で6,632筆と、ほとんど進展していません。
- これは、3000万署名との違いを訴え、理解していただくことが不十分なことと、コロナ禍による取り組みを十分に行えていないことによるものと言えます。

<ブックレット第10号発行>

- ・福島県九条の会では2009年3月に「ブックレット1」を創刊して以来、ほぼ毎年刊行して今年6月には第10号(沖縄特集)を発行することとしました。発行日:6月23日(慰霊の日)
- ・「・・・日本復帰50年を迎える・・・沖縄からの声」をテーマに、沖縄副知事に就任された照屋義実氏(福島大学在学部・昭和46年卒)、元福島大学教授・渡名喜廣安氏ほか5人の沖縄関係の皆さんに執筆いただいています。
- ・① 沖縄県副知事に就任して、戦後70年、中小企業・地域経済と平和について考える(照屋義実)
- ・② 福島・沖縄・憲法(渡名喜廣安) ③ [基地]も[原発]も[どこにも]いない～～(源啓美)
- ・④ 五色会一在沖縄福島大学OB会(山本勇) ⑤上大謝名住民として普天間基地の弊害や日常生活などについて(平良忍) ⑥ 沖縄県での民生委員の活動(呉屋良武) ⑦ 抵抗する島沖縄の歴史・・・自立を求めて(下地輝明)

<日本国憲法を広げる活動>

1、日本国憲法の間接的起草者：鈴木安蔵を広げる活動

- ・敗戦後「日本国憲法」の起草に当たって、鈴木安蔵(憲法研究会)が作った草案が他の民間案をしのぎ、「憲法草案要綱」としてGHQ案に影響を与え、2046年11月3日に正式に日本の憲法となった。
- ・この鈴木安蔵の生家が南相馬市小高区であり、この旧家を保存し、日本国憲法創設の大事な役割を果たした偉業を後世に伝えていくために「鈴木安蔵を讃える会」を立ちあげました。
- ・年会費2,000円+任意の協力金で運営していく計画です。
- ・小高九条の会の志賀勝明氏が会長となり、事務局会議を月1回ペースで開催し、当面2月地震の被害を受けた生家の補修の善後策を検討しています。
- ・マスコミにも取り上げられ、順次広がっています。現在会員130人 会員を増やし発展させていくべく、会長・志賀勝明氏(090-9530-5524)へ激励のご連絡をお願いします。

2、9条地球憲章の会（日本国憲法を世界に広げる）の紹介

- ・2017年5月13日に「憲法9条の理念で地球憲章を一今こそ非戦・非武装・非核世界をめざして」として発足記念シンポジウムを行って発足したのが9条地球憲章の会です。
- ・堀尾輝久代表（東大名誉教授）と目良誠二郎事務局長中心に活動しています。
9条の理念を生かした地球憲章を各国の市民に作ってもらい、戦争のない世界の実現を目指していこうと活動を続けています。
- ・民間が独自に掲げる憲章を想定し、将来的には「世界共通版」の地球憲章もつくり、各国政府に働きかけて国連決議につなげることも視野に入れている。
- ・世話人代表の堀尾東大名誉教授は「ある意味で国連憲章を超える新しい理念モデル『地球憲章』として広げたい」と訴えています。
- ・設立4周年を記念して、ブックレット「地球平和憲章 日本発モデル案」が発行されます。
6月13日にはオンラインで記念総会・シンポジウムが開催されます。

福島県48万人署名・市町村別署名数

2020年

目標の1/3を突破「17万筆超え」現在：35.4%

3月28日現在

目標達成	50%超	目標の1/3を突破「17万筆超え」現在：35.4%				3月28日現在			
市町村名	有権者数	目標数	署名数	達成率 %	市町村名	有権者数	目標数	署名数	達成率 %
福島市	238,890	70,000	36,943	52.78	三島町	1,542	500	10	2.00
会津若松市	100,565	30,000	15,396	51.32	金山町	2,022	600	10	1.67
郡山市	272,963	80,000	37,678	47.10	昭和村	1,214	400	10	2.50
いわき市	277,122	82,000	20,024	24.42	会津美里町	18,138	5,300	368	6.94
白河市	51,509	15,000	5,838	38.92	大沼郡計	22,916	6,800	398	5.85
須賀川市	64,388	19,000	15,354	80.81	西郷村	16,425	4,900	412	8.41
喜多方市	41,219	12,000	6,558	54.65	泉崎村	5,402	1,600	329	20.56
相馬市	29,892	9,000	477	5.30	中島村	4,187	1,200		
二本松市	47,264	14,000	3,034	21.67	矢吹町	14,744	4,400	530	12.05
田村市	32,467	10,000	116	1.16	西白河郡	40,758	12,100	1,271	10.50
南相馬市	53,750	16,000	1,832	11.45	棚倉町	11,832	3,500	441	12.60
伊達市	53,121	16,000	6,120	38.25	矢祭町	5,096	1,500	[500]	
本宮市	25,511	8,000	1,196	14.95	塙町	7,646	2,300		
市部計	1,288,661	381,000	150,566	39.52	鮫川村	3,082	900	96	
桑折町	10,499	3,000	846	28.20	東白川郡	27,656	8,200	537	6.55
国見町	8,221	2,400	270	11.25	石川町	13,384	4,000	40	1.00
川俣町	12,234	3,600	[300]		玉川村	5,754	1,700		
伊達郡計	30,954	9,000	1,116	12.40	平田村	5,288	1,600	[200]	
大玉村	7,118	2,100	142	6.76	浅川町	5,526	1,600	[150]	
安達郡計	7,118	2,100	142	6.76	古殿町	4,734	1,400	[60]	
鏡石町	10,509	3,100	81	2.61	石川郡	34,686	10,300	40	0.39
天栄村	4,969	1,500	50	3.33	三春町	15,058	4,400	3,184	72.36
岩瀬郡	15,478	4,600	131	2.85	小野町	8,954	2,600	[100]	
下郷町	5,098	1,500			田村郡	24,012	7,000	3,184	45.49
桧枝岐村	486	200			広野町	4,292	1,300		
只見町◎	3,878	1,100	2,233	203.00	檜葉町	6,288	1,900		
南会津町	14,125	4,200	445	10.60	富岡町	11,423	3,300		
南会津郡	23,587	7,000	2,678	38.26	川内村	2,431	700		
北塩原村	2,470	700	79	11.29	大熊町	8,594	2,500		
西会津町	5,776	1,700	665	39.12	双葉町	5,260	1,500		
磐梯町	2,952	900	[64]		浪江町	15,813	4,700	25	0.53
猪苗代町	12,592	3,700	[230]		葛尾村	1,266	400		
耶麻郡	23,790	7,000	744	10.63	双葉郡	55,367	16,300	25	
会津坂下町	13,694	4,000	856	21.40	新地町	6,738	2,000	379	18.95
湯川村	2,703	800	411	51.38	飯館村	5,126	1,500	[30]	
柳津町◎	3,062	900	1,050	116.67	相馬郡	11,864	3,500	379	10.83
河沼郡	19,459	5,700	2,317	40.65	町村計	337,645	99,600	12,962	13.01
					<不明>			6,720	
					県合計	1,626,306	480,600	170,248	35.42

市町村長九条の会 報告

鹿野文永・東北市町村長の会

- 「東北6県市町村長九条の会連合」の発足の契機
- 2020年5月3日、安倍晋三前首相が唱える新憲法施行阻止
- 全国首長九条の会結成
- 憲法審査会の動きにストップをかける
- 菅政権の暴走を許さない